

「高知県橋梁会 平成 27 年度 第 3 回研修会」報告

高知県橋梁会理事 岡林 弘憲

(一社)土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催による平成 27 年度 第 3 回研修会が、2015 年 12 月 11 日(金)に、高知市本町にある高知会館の「飛鳥の間」で開催された。

研修会では、会員や企業による新工法や新技術の紹介など 2 テーマ、高知高専の近藤先生による橋梁点検のデータ整理、高知県議会議員の久保先生による体験談など、合わせて 4 テーマについて講演を行った。

師走を迎え何かと忙しい時期にもかかわらず 76 名が参加し、参加者も含めて活発に質疑応答を行うなど、非常に有意義でかつ楽しく研修会を終えることができた。

■研修会 (13:30~17:00)

研修会に先立ち、右城会長から開催の挨拶が行われた。本会の研修会の参加人数が増えていることについて感謝の言葉があった。また、本会は高知市で開催される高校生橋梁模型コンテストに協賛している。神戸市で開催された同様のコンテストにおいて、橋梁専門会社や大学等も参加するなか、高知工業高校定時制が最優秀、同校の全日制が準優秀であったことの紹介があった。(13:30~13:35)



右城会長による開会の挨拶

1 番目の講演は、(株)S C ジャパンの柳村達也氏から「移動昇降式足場 SCANCLIMBER」と題し、高層構造物における点検作業や補修・補強工事の昇降式足場の紹介があった。

SCANCLIMBER は、フィンランドのスカンライマー社が開発した昇降式足場で、構造物の形状に合わせて作業台が変形(スネークシステム)し、橋梁などの特殊構造物に適しているとの説明があった。

また、仕様は最大積載量 W=6 t、最大設置高

H=300m、最大自立高 H=6.3m であり、高層ビルや煙突などの施工事例、動画を用いた作業フローなどの紹介もあった。(13:35~14:05)



柳村達也氏による講演

2 番目の講演は、東京ファブリック工業(株)の吉野伸氏から「桁接着とコンパクト支承」と題し、既設橋梁の耐震補強工法として PC 桁の定着工法(U-ウェッジフレーム)とコンパクトゴム支承(CRB-Z)の紹介があった。

既設 PC 桁に支承や落橋防止などをアンカーボルト定着させる場合、構造的な施工性が問題となる。U-ウェッジフレームは、アンカーボルトを使用しない定着工法で、ブラケットと PC 桁の間に設置したエポキシ樹脂の接着力でブラケットを定着させる工法である。性能確認試験の状況や試験結果、支承や落橋防止の施工例の紹介があった。

CRB-Z は、鋼板の代わりに炭素繊維強化プラスチック(CFRP)を使用し、水平力と上揚力を一括支持させる独自の構造を開発したことで形状のコン

パクト化を図り、コストも抑えるゴム支承であるとの説明があった。また、性能確認試験の状況や試験結果の紹介もあった。(14:05～14:55)



吉野伸氏による講演

3 番目の講演は、高知工業高等専門学校准教授の近藤拓也先生から「橋梁点検におけるデータ整理の重要性」と題し、昨年度まで勤務していた JR 西日本における山陽新幹線(昭和 50 年開業)の維持管理について紹介していただいた。

R C 高架橋では早期劣化が顕在化し、損傷の主な原因は中性化であることが判明した。検討の信用性を高めるため、補修工事時に採取したデータも用いて再検討を行い、補修フロー等を見直している。

P C 構造物は、R C と比べて変状発生から耐荷力低下までの期間が短い、グラウト充填状況などの調査、過去の診断結果に基づく現状把握などに務めた。

鋼橋では、点検精度を上げるため足場による近接検査を行ったが費用と労力を有するため、現在では塗装塗替え時の足場を利用して入念な点検を行っているなどの紹介があった。(15:05～16:05)



近藤拓也先生による講演

4 番目の講演は、高知県議会議員の久保博道先生

から「思いは実現する～リスクを恐れない～」と題し、ご自身の体験談について紹介していただいた。

高知県庁の定年退職までラスト 1 年となったとき、県庁退職後も外郭団体への再就職も考えられたが、母親の言葉である「世の中のためになる人になりなさい」に後押しされ、県議会議員選挙に出馬した。選挙に必要とされる三バンが十分でないことが分かると、回りの人がサーッと引いていった。この時、土木業界からバックアップしていただいた。

冬の寒い日の街頭演説はきつかったが、住民の印象に残るよう「もっと寒くなれ」と心で叫びながら演説していた。継続して努力すると夢は必ず叶う、リスクを恐れることはないなど、体験談の紹介をいただいた。

また、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開閉会でよさこい踊りを参加させて国内外へPRすること、高知城を国宝化するなどの目標についても紹介をいただいた。(16:10～16:55)



久保博道先生による講演

研修会では、参加者が熱心に聴講するとともに、各テーマに対して活発な質疑応答がされた。



熱心に聴講する参加者



質問する参加者



質問する参加者



岡林理事による司会

吉田副会長による閉会の挨拶では、本日の講演者や参加者への謝辞、次回研修会の開催予定、講演内容の募集などの報告をいただいた。(16:55~17:00)



吉田副会長による開会の挨拶

■忘年会(17:30~19:30)

研修会終了後、会場を「平安の間」に移して忘年会を開催した。参加者は講師の方々を含めて50名と盛況であった。

右城会長による開会の挨拶の後、本会の名誉会員である参議院議員の高野光二郎先生に来賓の挨拶(向井秘書による代読)をいただき、高知県議会議員の久保博道先生による乾杯の音頭で忘年会を開始した。



右城会長による開会の挨拶



向井秘書による来賓の挨拶(代読)



久保先生による乾杯の音頭



歓談のようす



歓談のようす



歓談のようす



歓談のようす



歓談のようす



吉田副会長による中締め



歓談のようす